



かっせんはら100

ほんち



新年のご挨拶

新年おめでとうございます。

年頭にあたり地域医療連携室から、一言ご挨拶申し上げます。

昨年も結局コロナに明け暮れた一年でした。これまでの生活様式が一変したのと同様に、病院における感染対策の徹底は外来・入院診療に多くの変化をもたらしました。関係各所にご不便をおかけしますが、最重要課題である「院内感染を起こさせない」ためのものご理解ください。ワクチン接種に関しては病院職員一丸となり可能な限り行政に協力しました。公的病院としての使命感で職員が対応したものであると考えています。第3回目の接種にも可能な限り協力をしていきますが、この点については十分行政にも理解してもらいたいと思います。

令和3年2月13日の福島県沖地震では、建物や病院機能に大きな被害を被りました。皆様のご協力で早期に病院機能は概ね回復できましたが、実際使用不能となった部分があり、救急外来は今でも使用不可能です。応急処置的に通常の外来ブースの一部を夜間や休日の急患対応にあてています。最近ようやく撤去や改修の工事が始まりました。このためまだ暫くは色々ご不便おかけすることもあるかと思いますが、病院機能完全回復までにもう少し時間をいただきたいと思います。

新年のご挨拶としては明るい話題が少ない中、昨年末に集束超音波治療100例を達成しました。他施設と比べて驚異的なペースで症例を重ねています。これもひとえに皆様からのご紹介のおかげであり感謝申し上げます。

本年度も皆様方の貴重なご意見を賜りながら、より良い地域医療連携を構築できればと考えておりますので宜しくお願い申し上げます。

令和4年1月 国立病院機構宮城病院 地域医療連携室

安藤肇史

MRガイド下集束超音波治療（FUS）の問い合わせ・予約状況について

宮城県をはじめとし、東北6県、関東圏からも問い合わせがあり、治療を受けられています。

治療の結果について「箸でご飯を食べられるようになった」など、喜びの言葉が聞かれています。2022年4月末まで手術の予約が入っている状況です。

治療の対象は「本態性振戦」「薬剤難治性パーキンソン病の振戦・運動症状緩和」ではありますが、診断がついていなくても、ふるえの症状があり、日常生活に不自由を感じている方はまずご相談ください。診断から薬物治療、FUS治療など、症状に応じた治療を行っていきます。

相談・外来予約の窓口はFUS治療センター（地域医療連携室）となります。症状のこと、治療に関する事など、お気軽にお問合せください。

連携係長 阿部直美

地域



□だしまき卵□

材料	分量(1人分)
卵	50g(1個)
サラダ油	適量
A 万能だし (ヘルシお)	大さじ1杯
A 砂糖	小さじ1/2
A 醤油	〃

〈作り方〉

- ①卵にAの調味料を入れ白身を切るように軽く混ぜる
- ②フライパンを熱し、やや多めのサラダ油を敷く。
- ③卵の2/3を一気に流し、大きく混ぜる。
- ④半熟状態で片方に寄せていき、卵焼きの形に整える。これを一度ひっくり返す
- ⑤残りの卵で薄く卵を焼きくるくと巻いていく。2~3回繰り返し完成。

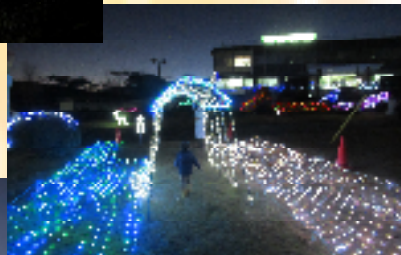
万能だし

水1Lに対するだしの分量

・花かつお	20g
・いわし煮干し	10g
・だし昆布	5g

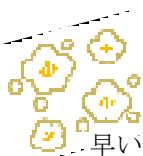


今年も行いました！ クリスマスイルミネーション



宮城病院ではInstagramを始めています。

画像を中心として、当院をより身近に感じていただけるよう、投稿を更新していきますのでぜひご覧ください。



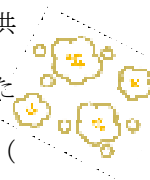
早いもので新年を迎えて一月が経ちましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

一時は落ち着いた新型コロナウイルスも感染拡大を続け不安な毎日をお過ごしのことと思います。

先の見えない日々ですが、少しでも明るい話題を提供できればと思います。

2022年も、地域医療連携室をよろしくお願いたします。

医療相談員 (木村)



〒989-2202

亙理郡山元町高瀬字合戦原100番地

TEL (0223)37-1131 (代表)

<http://miyagi.hosp.go.jp/>

【発行・編集】

独立行政法人国立病院機構宮城病院
地域医療連携室